

然し、法師が記述してある塚の彼れ是れを「舊王」又は「舊王妃」伽藍に歸すべきものか、それは通りがかりの者の輕卒に斷定すべきものではないから、此處にも假定は一切慎み、唯だ舊市街及び疏勒質子の住つたと云ふ有名な寺院の位置に就て確信ある判定を下すだけで満足することにする。又、首都から少々隔つた範圍内で法師が指示したものの、例へば、南方四十里と示してある靈蔽多伐喇祠城、距離を示さず只だ西南としてある象の形をした神靈比羅娑洛 P'lousara 窳覩波、東南三十里と示す不思議な曷邏帖羅 Rahoula 窳覩波などの所在に就ても亦強ひて言はないことにする。然し、現地に就て探求すれば敢て無駄骨折りにはなるまいと思はれる。先づ前記市街地の跡はベグラームの南方約十二吉米突の地で今猶ほタタラーンザル Tataranzar の dashi の散在する遺跡であるらしい。次にコ・ダーマン Koh-Daman 川の南側に各々孤立せる三丘の東端なるものは見方によつては水邊に蹲る象の形を爲し、而も其の脊骨(頭部に當る處には今も猶ほ ziarat の石を積んだ標示がある)を現はす部分には古代の建物があつたことは確實である。又、法師が曷邏帖羅の塔として指定した